

3. 2022年度学会参加報告

**The 4th Australasian Glycoscience Symposium and
9th Warren Workshop for Glycoanalytics 参加報告**

藤田 晶大

2023年11月22日から25日にかけて、今回で4回目となる「Australasian Glycoscience Symposium」が開催された。第9回のWarren Workshopとの合同会議になっており、シンポジウムでは主にオーストラリアとニュージーランド、加えて、日本、アメリカ、インドなどからも主要な研究者が参加した。当時のオーストラリアはコロナ渦の出口へ向かっているというような状況で対面の会議となり、オーストラリアの東海岸にあるゴールドコーストが開催地となり、豊かな自然環境と太平洋を望む美しいビーチのもと多様な糖科学分野のテーマについて議論がされた。

本学会では Glyco@Oz としてすでに知られているオーストラリアの糖質科学学会の正式立ち上げも兼ねており、世界での糖質科学の熱気を感じる機会でもあった。

私は「Development of an efficient glycan structure search tool using a new score matrix

based on monosaccharide structures」との題目でポスターによる発表を行った。発表では単糖間の類似度行列を作成し、糖鎖比較に応用した事例を主に発表した。思いがけずコンピュータによる糖鎖構造の三次元解析で有名な Martin Frank 氏と議論ができ、今後の研究方針についての不備と可能性についてアドバイスをいただいた。彼と議論した印象深い話題は、グリコシド結合における自由度を示すグリコシド結合を比較する際には算定に用いる力場が示す安定している構造の極少数のバリエーションを扱えば十分なのではないかという点と、糖鎖研究者向けに開発するソフトウェアがユーザーにとって直感的でなければならないという点だ。今回は久しぶりの対面での発表となり、大きな触発を得ることができた大変有意義な発表となった。最終日には、もったいなくもポスター賞をいただくことになり恐縮しきりであった。

